
アイリーンの女神

幻夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アイリーンの女神

【コード】

N8539Z

【作者名】

幻夢

【あらすじ】

剣と魔法が溢れる世界アルテ。冒険者のメルは今日も楽しく旅をします。

プロローグ

ここリーゼル国の城下町ルーナは、今日もたくさんの人でにぎわっている。

そして冒険者ギルドでも今日もたくさんの方々が集まっていた。

ただ何か違う事があるとすれば、受付のカウンター前に立つ冒険者だろう。

170cm程の身長に細身の少女が立っており、格好は膝までの上質な白いワンピースの上に腰までの黒いフード付マントを着ている。

ギルドでは男の冒険者が多く、そのため少女は明らかに浮いていた。

別に女の冒険者がいないわけではないが、極稀である。

「この依頼が終わったので報告に来ました……」

少女が入って来たことにより少し静かになったギルド内で、少女の透き通るような声が響く。

「……………少々お待ちください」

受付の男は依頼内容を見て一瞬固まり、すぐに営業モードに切り

替えて奥の部屋に入っていった。

それからしばらくすると男は報酬の入った袋を持って戻って来た。

「お待たせしました。これが今回の報酬になります」

少女は袋を受け取ると鞆にしまった。

「あとこの依頼とこの依頼を受けたいのですが」

そして少女は持っていた紙を男性に差し出した。

「……わかりました。手配して置きましょう」

受付の男はまた少し固まったが今度は少し間が短かった。

男が固まるのも無理はなかった、なぜなら少女が受けたのは二つともSランクの依頼だったからだ。

ランクとは下からG・F・E・D・C・B・A・AA・AAA・SSSまであり、基本Gランクから始まり受けられる依頼は次のランクまでとなっている。

次のランクに上がるには自分のランクよりひとつ上の依頼をいくつかこなす必要がある。

冒険者のランクはCが一般的でその上になるほど数が減ってくる。

つまり目の前の少女がSランクの依頼を受けると言う事は、少なくとも少女がAAAランクであると言う事

だ、男が驚くのも無理はない……。

少女はこの状況に少し頭の中で溜息をついた。

目の前にはがたいの良い男がニヤニヤと馬鹿にするように立っていた。

「おい、ここはお嬢ちゃんみたいなのが来る所じゃないぜ？」

男の言葉にまたかと思った。

「……それが何ですか？」

少女が返した言葉に馬鹿にされたと思った男は見るからに顔を赤くして怒鳴る。

「何ですか？、っじゃねえよ！俺が言ってるのは、ここはお前みたいな女が来る所じゃねえって事だよっ！！」

男の怒鳴り声を聞いて周囲に冒険者が集まる、面白そうに眺める者はいても止める者はいない。

少女がしばらく黙っていると男は殴りかかってきた。

「なに黙ってんだよっ」

男のこぶしが少女にあたる次の瞬間もう男は倒れていた。

誰もが起こったことに理解できず固まっていた。

目の前では少女を殴ろうとした男が気絶して倒れており、少女は何事もなかったかのように歩き出したのだから。

やがて少女がいなくなり皆が気がついて口々に何があったのか話しあった。

ルーナの宿屋に戻りフードを被った少女は、自分の部屋に入り寝台の端に座りフードの付いたマントを外した。

そして寝台からおりて鏡の前に立つと、少女は少し困った顔をして言った。

「うーん……、やっぱり目と髪の色変えようかな？」

鏡に映るのは少し困ったような左右対称に整った人形のような少女の顔。

そしてかつて聖と称えられ、今は邪と嫌悪される女神と同じ瞳と

要……。

女神アイリーン聖の書

それは昔中立の国フェーリスにて、

ある者は言ったここは神の国だと。

人々は女神アイリーンを称えた。

太陽の黄金の瞳は温かく、月の白銀の髪は美しい。

やがてアイリーンの盲信者達は禁異を犯した。

「こんな感じかな」

少女は鏡を見て微笑んだ。

鏡に映る少女の髪は栗色、目は水色だ。

少女は魔法は便利と思っているが、実際髪と目の色を変える事はかなり難しいことだった。

上級魔法使い程の者でなければ使えないような技である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8539z/>

アイリーンの女神

2012年1月6日13時53分発行